

第7回 防火ジョギング・ウォーキング大会



10月26日(日)、「第7回 防火ジョギング・ウォーキング大会」を開催しました。

当日は、あいにくの雨天にもかかわらず、2歳から82歳までの88名の方が参加されました。

今年から新たに「ウォーキングの部」を設け、秋の風情に浸りながら、斐伊川堤防でウォーキングを楽しんでいただくことができました。

多くのみなさんに、健康増進と火災予防に理解を深めてもらうことができました。

秋の風情に浸りながら、斐伊川堤防でウォーキング



子どもたちから火災予防の呼びかけ

秋の火災予防運動の一環として、幼稚園・保育園(所)の園児を対象に火災予防図画コンクールを実施し、510点の応募がありました。

すばらしい作品の中から、優秀作品(最優秀賞、消防長賞、金賞、銀賞)266点を選び、各町内のショッピングセンターに展示し、火災予防を呼びかけました。たくさんのご応募ありがとうございました。

最優秀賞

雲南市立西幼稚園 やまもと ゆづきちゃん

3機関合同 列車事故対応訓練

近年、災害はますます複雑多様化、大規模化する中、12月2日(火)、JR西日本木次鉄道部、雲南警察署及び雲南消防本部の3機関合同で、列車事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、実際に駅構内に列車と横転した軽トラックを並べ、踏切内で列車が軽トラックに衝突し、乗客など多数の傷病者が発生したとの想定で行いました。

これにより、相互の活動内容と連携体制の強化を図ることができました。

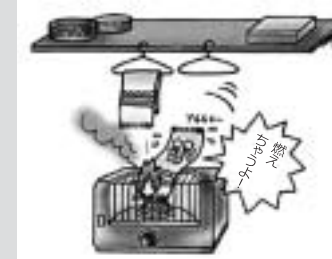


冬場の火災予防

寒くて空気が乾燥しているこの時季には、ストーブによる火災が毎年発生しています。次のポイントに心掛け、ストーブによる火災を起こさないよう十分に注意してください。

- ストーブの上で洗濯物を干さない。
- ストーブは、カーテンや布団、ふすまなどの燃えやすい物から離して使う。
- ストーブの近くに、スプレー缶を置かない。
- 給油は必ず火を消してから行う。
- 灯油は、他の燃料(ガソリンなど)と区別して保管する。
- 耐震自動消火装置付きのものを使う。

ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

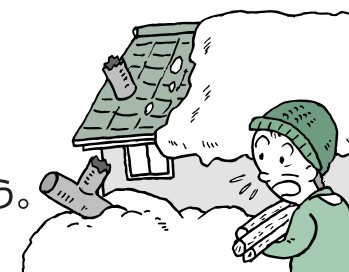


雪ずりに注意!!

例年、雪ずりにより煙突が折れて火災が発生したり、ボイラーやガスボンベなどのホースが破損し、燃料の漏洩事故が発生しています。

このような災害を防ぐために、今一度、次のことに注意して下さい。

- 煙突の補強や焚く前に点検を行う。
- ガスボンベや燃料タンク付近の除雪やホースの点検を行う。
- 雪囲いなどの防雪対策を行う。



煙体験をしましょう!

(財)日本防火協会から、煙体験用資器材の寄贈を受けました。

これは、防火クラブ等の育成強化と防火思想の高揚を目的に、助成されたものです。

今後、これを活用し、煙の恐ろしさや特性、火災時の避難方法を学んでもらい、災害対応能力の向上を図っていきます。

